



簡易検査ではわからない。

医療機関の設備に関わらず、一般的な簡易検査では 新型インフルエンザと季節型インフルエンザを見分けることはできません。

治療に特段の差はありません。

詳しい検査をして新型とわかっても 予防や治療の方法に特段の差はありません。

*

これまでの方針では、まん延を防ぐために症状が軽い場合でも、患者さまと感染の疑いがある方には入院していただいております。しかし、仮に感染してもほとんどの方が軽症のままで回復しており、厚生労働省は詳しい診断や隔離に力を注ぐよりも、今後秋冬に向けて増加する可能性のある

「重症の患者さまの救命」

を国の最重要事項として位置づけています。

治療は 自宅で 充分可能です。

症状の程度や基礎疾患等の状態から、入院治療が必要な患者さま以外は、自宅での治療を続けていただくことが原則になります。

*

一度に多くの患者さまが病院に殺到すると、インフルエンザにかかったり、インフルエンザ以外の病気の治療に影響を生じる場合がありますので、まずは電話でかかりつけ医に相談してください。

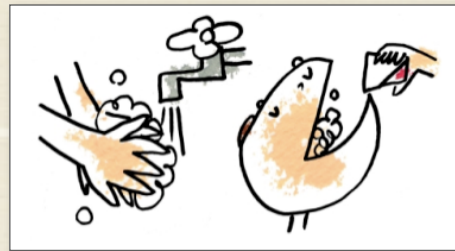
岩手県

監修 岩手県医師会・岩手県感染症対策委員会

咳エチケット



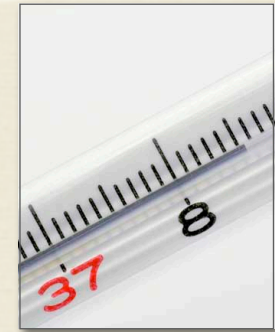
- ・咳やくしゃみのしぶきはティッシュで防ぎ、その後は 確実に くずごへ
- ・咳やくしゃみがある時は周囲のひとから 2メートル以上はなれましょう。



- ・咳やくしゃみを手で押さえたら、必ず手を洗いましょう。
- ・病院に行くときはタオルやティッシュを持ち、マスクをしましょう。

医療機関名

インフルエンザ 受診の手引き 患者さまとご家族へ



熱だ～、病院に行かなきゃ。 まず、その前に かかりつけ医に 電話相談

- ・実際に熱を測ってみましょう
- ・咳やくしゃみがある時は早速マスク
- ・ティッシュで鼻と口をカバーしましょう
- ・家族に同じ症状はありませんか
- ・学校や会社ではどうですか

- ・実測の体温が38℃以上
- ・のどが痛い
- ・頭痛がする
- ・全身の関節や筋肉が痛い

心当たりの方は、中をご覧ください。



Q and A

* 持病がありますが、すぐに入院ですか？

いつも診ていただいている医師に電話で相談しましょう。病状にもよりますが、ご家族にインフルエンザの方がいるだけで予防のためのインフルエンザ薬が必要な場合があります。事前に電話をしてから、直接診察を受けましょう。

* 妊娠中です、内科受診でいいですか？

産婦人科の先生に電話で相談した上で、どちらかを判断しましょう。多くの場合は内科でも大丈夫ですが、あなたは本当のインフルエンザとは限りません。待合室で他の患者さまから本物のインフルエンザに感染するリスクにも配慮しましょう。

* 呼吸が苦しく、意識が朦朧としているのですが？

なるべく早く、かかりつけ医に相談したうえで、入院設備のある医療機関を受診しましょう。

必要な場合は救急車（119番）を呼びますが、救急隊員にインフルエンザの症状があることを必ず伝えてください。

病院に行きたい。でも、どこに行けばいいの？

岩手県では 発熱外来体制を休止し、原則として全てのインフルエンザ様症状の患者さまを一般の医院や診療所、病院で診療することとなりました。

普段、通院している病院に電話で相談してみましょう。

受診の際には、ご自分に合った次の手順を参考にしてください。

近くに普段 通院している病院がある。

- ・かかりつけ医に電話で相談してください。
- ・診療時間帯と受診時の注意について教えてください。
- ・病院や医院の電話番号と担当医を書き留めておきましょう。

電話 _____ 担当医 _____



いつもの先生はあなたの持病について良く知っています。

慢性の病気があって、普段から主治医が決まっている。

- ・主治医に電話で相談してください。
- ・どの医療機関にかかれば良いか、何に気をつけるか教えてください。
- ・病院や医院の電話番号と担当医を書き留めておきましょう。

電話 _____ 担当医 _____



普段通院していれば、カルテと情報が揃っています。

普段 通院している病院がない、場所がわからない。

- ・いわて医療情報ネットワークの医療機関検索をご利用ください。
URLは <http://www.med-info.pref.iwate.jp> です。QRコードは→
- ・お近くの保健所や県庁保健衛生課の「**新型インフルエンザ相談窓口**」に電話でお問い合わせください。

電話 **019-629-5466**（相談時間：平日の**8:30~17:30**）



2次元バーコードでケータイから簡単にアクセス！